

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

日本と富山の農業とICTのこれから

情報通信技術

日本の未来にあってはならない農業が、高齢化による担い手不足や気候変動・自然災害などの問題に直面し、脆弱化が懸念されています。その解決策の一つとして、国では全国でスマート農業の実証プロジェクトを進め、富山でも水稲やチューリップ球根栽培などでスタートしました。農業とICTというテーマで、農林水産大臣を務めた「野上浩太郎」と総務大臣政務官時代からICT推進に携わる「たちばな慶一郎」さんに、富山における農業の課題や取り組み、未来の可能性について伺いました。
(取材/令和4年3月5日 富山県花卉球根農業協同組合・JAとなみ野稲種センターにて)

たちばな慶一郎さん

衆議院議員

参議院議員

野上浩太郎さん

野上浩太郎さん
たちばな慶一郎さん
対談特集号

富山県花卉球根農業協同組合 チューリップ水耕栽培のビニールハウスにて

農林水産業と食料の将来を見据えた 取り組みを進めました

野上

野上さんは昨年10月まで農林水産大臣を務められ、農業の未来に向けてどんな施策を進められたのでしょうか。

野上浩太郎 昨年の秋まで、たちばなさんをはじめ多くの方に支えられ農林水産大臣を務めさせていただきました。この間、鳥インフルエンザや豚熱という家畜伝染病・自然災害への対応といった緊急的課題に加え、世界的には新型コロナウイルス感染症との闘いという一年でもありました。国では農林水産業と食料の将来を見据えた取り組みを進めました。その中における大きな柱の一つが「みどりの食料システム戦略」です。近年、一次産業では高齢化などによる生産者の減少や温暖化の進展で災害が激甚化しています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけにサプライチェーンが混乱しました。国際的にも国内的にもSDGs(持続可能な開発目標)が問われ、農林水産業や食品産業を取り巻く環境は厳しく、その中で地域や地球環境、そして未来世代に優しい持続可能な食料システムをつくる目的で策定しました。生産者から事業者、消費者まで一体となった取り組みが必要ですので、予算や税制など、支援体制を構築することが重要です。法案の作成も指示しました。今回の通常国会に提出されていますので、成立を期し、総合的に支援策を展開していきたいと思っています。

「みどりの食料システム戦略」には色々な要素がありますが、中でもスマート農業は新しい重要な要素です。本日視察しました富山県花卉球根農業協同組合さんのチューリップ球根の生産にも、昨年度、新たにスマート農業実証プロジェクトが導入されました。また、同年度に富山の水橋地区では「国営農地再編整備事業」が新規採択されました。これまで狭小で排水不良などで収益性が

野上

低かった圃場を区画整備で大規模化し、スマート農業を導入して高収益作物への転換や海外輸出を図って産地の収益力を向上させる次世代型農業です。本州初の事業でもあり全国的にも注目されています。

——スマート農業の課題は何ですか。

たちばな慶一郎 例えば圃場が1区画30aの面積だとするとスマート農業では1ha(100a)と大規模な方がより効率的に作業ができます。いまほど視察したチューリップ球根栽培も区画が広いほど機械効率も向上しますね。

しかし、スマート農業は大型機械が必要で投資も高額になります。投資をどう回収するかがポイントになります。多くの人が活用できるシェアリングの方法を進めることも課題ですね。チューリップ球根生産ではチューリップだけでなく、植え付けと収穫時期が異なるグラジオラスやクロッカスなど、他種類の球根栽培にも将来的に利用する計画でした。技術開発に加え、どう応用していくかといった総合的な組み合わせを考えることも重要だと思います。

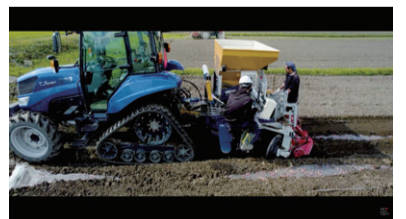
野上 現在、全国203地区でスマート農業の実証実験を展開しています。技術的には自動トラクターもそうです。ドローンでの施肥や水田の水管理システム、リモートセンシング技術を活用するなどいろいろ

富山県では農林水産すべての分野で スマート化の実証実験を進めている

——たちばな

——たちばなさんはおよそ10年前からICTを推進する立場におられ、今も関わりがありますが、当初の変化などお聞かせください。

たちばな ICTは携帯電話というと現在は5G(第5世代)といわれています。私は総務大臣政務官を任命された10年前の4G(第4世代)の頃からICT関係に携わらせ



チューリップ球根産地「砺波市」での未来型スマート農業の取り組み。球根を上下のネットで挟み込んだ形で植え付けし、ネットごと収穫する栽培方法(農林水産省(農研機構)令和3年度スマート農業実証プロジェクト)



チューリップなど球根類の「ネット栽培対応収穫機」の説明を受ける(富山県花卉球根農業協同組合)

実施しています。技術の進展で確かに初期投資は高額になりますので、どう展開していくかという課題があります。例えば新たな農業支援サービスの育成・普及であるとか、たちばなさんもおっしゃったシェアリングの仕組みをしっかりとつくることなどが重要になってきます。

ていただいています。ICTを社会のいろいろな分野で応用していくと、教育や医療分野などで取り組まれました。農業分野は4Gの時代ではいまほどの広がりはありませんでしたが、5Gはデータを大量に高速処理できるので可能性が一気に広がりました。GPSを利用した植え付けや田植え、水門の調整も水位

(2面ついで)

けい いち ろう
たちばな慶一郎さん

衆議院議員 橘 慶一郎事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館622号室
Tel 03-3508-7227 Fax 03-3508-3227 E-mail office@t-k1.net

自由民主党富山県第三選挙区支部

〒933-0912 富山県高岡市丸の内1-40 高岡商エビル Tel 0766-27-7811 Fax 0766-27-7821



野上 浩太郎 参議院議員

自由民主党富山県参議院選挙区第一支部長
当選回数/3回
生年月日/昭和42年5月20日 富山市生まれ

【現職】

- 参議院自由民主党幹事長代行
- 参議院農林水産委員会

【今までの主な役職】

- 農林水産大臣
- 内閣官房副長官(3期連続)
- 国土交通副大臣
- 財務大臣政務官

【参議院常任委員会】

- 議院運営委員会 筆頭理事(2期連続)
- 文教科学委員会 委員長
- 決算委員会 筆頭理事
- 予算委員会 理事 など



〈令和3年7月〉熱海市における土石流災害を現地視察

▼野上さんの最新情報は…



的といえます。

40種類近くつくっているのですから素晴らしいですね。種もみの栽培は、いまのところドローンで除草剤を散布したり、水の管理は水位センサーを使ったりしているようですが、今後はAIを活用したスマート農業に期待が持てそうです。



〈左上〉種もみのサンプル 〈右上〉出荷を待つ種もみ保管エレベーター 〈下〉稲株の標本 (JAとなみ野 稲種センター)

センサーで遠隔操作ができる。農業分野で5GによるICTを使った技術革新が急速に進んだと実感しています。総務省でもICTを使ったスマート農業、スマート林業、スマート漁業について支援しています。実は富山県では農林水産すべての分野で実証実験を進めているのです。スマート林業は南砺市で里山の樹木の切り出しの事業に、水産業は富山湾で水温や海流などのデータを駆使して取り組んでいます。野上さんを筆頭として富山県は農林水産業のスマート化に意欲

ターでの説明にもあったようにこの地区には庄川風という強風が吹いて朝露を飛ばし病害虫が付きにくいという環境にあり、さらには売薬さんが種もみを全国に宣伝してきたという歴史の積み重ねと生産者の努力で、出荷量日本一の座があるのです。いま、水稲と大豆・大麦の稲種を分けて効率的に生産するための計画が進行しているところ

豊かな農山漁村を守るといふ思いで活動してきました

野上



橋 慶一郎 衆議院議員

自由民主党富山県第三選挙区支部長
当選回数/5回
生年月日/昭和36年1月23日 高岡市生まれ

【現職】

- 組織運動本部 本部長代行
- 文部科学委員会 筆頭理事

【今までの主な役職】

- 復興副大臣(2回)
- 総務大臣 政務官

【党総務会】

- 総務

【党本部】

- 副幹事長
- 選挙対策委員会 副委員長 兼 事務局長
- 国会対策委員会 副委員長 など

【党政務調査会】

- 総務部会 部長 など

【衆議院常任委員会】

- 文部科学委員会 委員長
- 予算委員会 理事
- 議院運営委員会 委員(議事進行係) など

【衆議院特別委員会】

- 東日本大震災復興特別委員会 理事 など



〈令和2年12月〉砺波市 農地地すべり視察

▼たちばなさんの最新情報は…



農業従事者が富山で安心して働けるという観点から、防災面での事業などをお聞かせください。

いま県内の全路線4車線化の工事に入っていますが、これは野上さんが国土交通副大臣を務められていたときに、いち早く4車線化を正式検討する「東海北陸地方間のネットワーク交通課題検討会」を立ち上げようやくったものです。農産物の出荷にも大変役に立つ物流の大動脈ですね。

これからの農林水産業の在り方や可能性などをお聞かせください。野上 農産物の輸出はこれまで9千億円台で推移していましたが昨年に初めて1兆円を超えました。新型コロナウイルスでの巣ごもり需要にマッチした輸出をしたことなどが功を奏しました。国では2030年までに農林水産物・食品の輸出額を現在の5倍の5兆円とする目標を設定



〈令和2年8月〉利賀ダム工事用道路・一般国道471号利賀バイパストンネル着工式

世界への人口は増加し、日本の人口は減少してマーケットは小さくなりますので、海外に向けて需要を求めていく必要があります。

私は党で「文化立国調査会」の事務局長を任されており、PRになりますが、和食は2013年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。さらに今春にユネスコの無形文化遺産へ提案されることになりました。富山には多くの蔵元があるので輸出拡大の一助になればと思います。

野上 農林水産業は国の基であり豊かな農山漁村を守るといふ思いで、これまで全力で取り組んできました。コロナ禍で感じたのは、地方の魅力ですとか農山漁村の価値が改めて見直されたのではないかと思います。今後も「地方から日本を立て直す」という信念で活動していきます。たちばなさんも「地方から始まる新しい国のかたち」の実現に向けて活動されているように、同じ志を抱いていると思えますので、これからも共に富山のために歩んでいきたいと思えます。



スマート農業/ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産の実現を推進していく新たな農業のこと
リモートセンシング技術/リモートでセンサー(感知器)などを使用してさまざまな情報を計測・数値化する技術の総称

自民党

新型コロナウイルスにともなう
あなたが使える緊急支援

#意見があるなら自民党

ライブボイス
改革!